

りんご黒星病対策 春先の耕種的防除の徹底を！

近年問題となっている黒星病のまん延を防ぐために、春先の対策として、感染源を減らすことを目的に耕種的防除（被害落葉処理）を徹底しましょう。

* * *

- 雪が解けたらできるだけ早く被害落葉の処理を行いましょう。
今冬は積雪が少なく、園地の消雪も早まることが予想されますので、菌密度を少なくするチャンスです!!

※処理方法 { ①集めてほ場外へ搬出・処分
②わい化栽培では樹冠下へ集めてすき込み

| 区 | 果そう葉 | | 新梢葉 | | 果実 |
|-------|--------|------|--------|------|--------|
| | 発病率(%) | 発病度 | 発病率(%) | 発病度 | 発病率(%) |
| 集めて処分 | 13.4 | 4.4 | 11.6 | 4.0 | 1.5 |
| 無処理 | 50.4 | 18.0 | 45.1 | 20.0 | 9.0 |

| 区 | 果そう葉 | | 新梢葉 | | 果実 |
|------|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 発病率(%) | 発病度 | 発病率(%) | 発病度 | 発病率(%) |
| すき込み | 9.5 | 3.2 | 2.2 | 0.7 | 0.0 |
| 無処理 | 10.4 | 3.5 | 5.1 | 1.7 | 0.0 |

資料提供：青森県産業技術センターりんご研究所

☆処理の効果…昨年黒星病が発生した園地では、「春先の越冬落葉除去やすき込みの処理を行う」と、黒星病菌（子のう胞子）の飛散及び黒星病の発生が抑えられるという結果が出ています！

園地の管理による発生状況



- 薬剤の到達しやすい剪定や園地作りを心懸ける。(薬剤が樹全体に行き渡るように)

資料提供：青森県産業技術センターりんご研究所

☆「薬剤が樹全体に行き渡るような剪定」と「SS走行ルートの見直し」で薬剤が樹全体に行き渡るように工夫しましょう！

ウラ面あり

- 自園地の展葉を確認して、展葉1週間後頃の薬剤散布は適期に行う。(散布タイミングを逃さない)
- 薬剤は基準量を丁寧に散布するとともに、気象情報に注意して、降雨前の前倒し散布を実施しましょう。
- 前倒し散布により散布間隔が空き過ぎる場合は、落花10日後～20日後の間に殺菌剤を特別散布しましょう。
- 菌密度を下げるため、被害葉・被害果は見つけ次第、摘み取って処分するか、土中に埋めましょう。果実は果梗ごと摘み取りましょう。



ストップ黒星

